

恵比寿神の大樂院

大樂院は、牡丹で有名な奈良県長谷寺の直轄寺院。新丸子駅東口商店街を抜けて、まっすぐ、つき当たりにある。商売繁盛にご利益のある恵比寿神が祀られている。

中原区上丸子八幡町一五二二
○四四(四一二)七三三七
東横線新丸子駅下車、徒歩五分



大黒天の西明寺

歴史的に意義ある中原街道。その街道沿いにある徳川家ゆかりの西明寺。こちらの大黒天は、一本作り。木食上人の作と伝えられる。江戸時代のものである。打出の小槌を持ち、米俵を踏んまえ、柔軟な顔立ちをしておられる。福徳円満・財富の神で、事業繁栄にご利益のある大黒天。



中原区小杉御殿町一一九〇六
○四四(七二二)四五二四
東横線武藏小杉駅下車、徒歩十五分

七福神について

古来よりの庶民信仰の中でも七福神即ち、恵比寿神、大黒天、毘沙門天、弁財天、福禄寿、寿老神、布袋尊は、お祝いごとに必ずと云つてもよいほど顕現され、日本、中国、インドの神々がうち連れて人々に幸運をもたらすと云う。この神々に祈願して七福神の功德により色々な災禍を転じ、福運を授かりきびしい人生の海路を行こうとするものである。

正月二日の夜、宝船に乗った七福神の絵を枕の下に入れて寝ると縁起が良く、新春に巡拝するのが古くより行われ七難即滅、七福即生極りなしと申します。



弁財天の宝蔵寺

歴史の重みを感じさせる山門に、質素な本堂がよく似合う。宝蔵寺の本尊は、子育て地蔵菩薩。弁財天は、七福神の中では唯一の女性。音楽・弁才・除災などにご利益があるとされている。私達を愛情豊かな気分にさせてくれる。

中原区上小田中一一四一一三
○四四(七八八)七五九一
南武線武藏新城駅下車、徒歩八分



府中へ向かう県道。宮内交差点を右折して、ほどなく東樹院が現れる。手入れの行き届いた庭、大きなクスノキやマキの木が待っている。東樹院の毘沙門天は、長禄の昔、この地の豪族によつて発見された由緒あるものである。現在は、山門わきの堂の中に、この地を見見えるよう立つている。毘沙門天は、武神として名高い多聞天のこと。榮光や勇気の象徴として、四天王の一つになつてゐる。

中原区宮内一一一一一
○四四(七六六)五五四六
東横線武藏小杉駅下車、市バス①番線
藏前経由中原行、藏前下車、徒歩二分

南武線溝口駅北③番溝05小杉駅行、黄金塚下車徒歩二分

毘沙門天の多聞寺

ひつきりなしに車が通る県道。その喧噪が嘘のような境内である。布袋尊というものは唐代の僧で、福々しい容貌と太鼓腹で有名である。家財や衣服を入れた袋をかついで、円満で子供好き、寛容のほかに、学業成就にもご利益がある。

中原区木月四一二二一三二
○四四(四一二)三七二五
東横線元住吉駅下車、徒歩十三分

布袋尊の大樂寺

寿老神の無量寺



福禄寿の安養寺

安養寺の本堂は、ユニークで近代的なコンクリート造り。関東大震災の被害の後、仮堂だったものが生まれかわったのである。

安養寺の福禄寿は、本堂に合わせたかのように、現代的。しかし、衣のひだや顔立ちには、漢詩の風情が漂う。福德が授かり、人望厚くなれそう。

中原区上新城一一九一五
○四四(七七七)〇七〇六
南武線武藏新城駅下車、徒歩五分



山門前の掲示板には、人生教訓の言葉が墨跡鮮やかに書かれ、境内には、京都北山杉にて造られた茶室風の腰掛が、ごゆっくりどうぞと迎えてくれる。

さて無量寺の正式名称は、瑠璃光山・長寿院が付く。そこで、寿老人の登場、というわけで利益は、もちろん長寿。磨かれた本堂の縁側で日なたぼっこはいかが?

南武線平間駅・向河原駅下車、徒歩十分
○四四(四一二)四一八四

七福神めぐり案内図

